

# 2市1町市町村合併アンケート調査 報告書

平成21年4月

2市1町広域連携研究会  
(御殿場市・裾野市・小山町)

\* \* \* 目 次 \* \* \*

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査の期間・対象	1
(4) 回収状況	1
(5) 総括	2
2 調査結果	3
回答者の属性	3
問1 道州制や市町村合併、広域連携について報道されていますが、関心をお持ちですか。	4
問2 将来を考えた場合、市町村合併や広域連携をするべきであるとお考えですか。	5
問3 問2で「市町村合併を進めるべきである。」とお答えいただいた方に伺います。	6
問4 問2で「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである。」とお答えいただいた方に伺います。	12
問5 問2で「広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきでない」とお答えいただいた方に伺います。	17
問6 問2で「広域連携も市町村合併も進めるべきでない」とお答えいただいた方に伺います。	20

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

この調査は、御殿場市・小山町・裾野市において、道州制や市町村合併等についての住民の意向を把握し、今後の取組みの参考とするための基礎資料を得ることを目的として、2市1町で同時期に同じ設問にて実施した。

## (2) 調査項目

- ・回答者の属性
- ・道州制や市町村合併、広域連携についての関心
- ・御殿場市にとって市町村合併や広域連携が必要であるかについて
- ・市町村合併を進める理由、進めたくない理由
- ・広域連携を進める理由
- ・市町村合併のタイミング
- ・市町村合併をする場合の人口規模
- ・市町村合併をする場合の合併先市町
- ・合併に伴う行政サービス低下や負担増加について
- ・道州制が導入された場合の圏域について

## (3) 調査の期間・対象

	調査期間	調査対象
裾野市	平成 20 年 10 月 20 日～11 月 4 日	市内在住 20 歳以上の住民 5,000 人
御殿場市	平成 20 年 10 月 17 日～10 月 30 日	市内在住 20 歳以上の住民 2,200 人
小山町	平成 20 年 11 月 14 日～12 月 5 日	町内在住 20 歳以上の住民 1,500 人

## (4) 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
裾野市	5,000	2,049	41.0%
御殿場市	2,200	863	39.2%
小山町	1,500	580	38.7%

\*\*\*\*\*

## 報告書を見る際の注意事項

回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してある。

百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

## ( 5 ) 総括

今回の調査の有効回収率は裾野市 41.0%、御殿場市 39.2%、小山町 38.7% であり、市町村合併という市民生活にも密接に関わる事柄の意識調査であったものの、住民の関心はいまだ薄いのか回収率としては低調であった。

しかし、回答者の中では、市町村合併に関心を持つか(問1)という設問に対して、“関心がある”と6割以上が回答している。

また、市町村合併や広域連携をするべきか(問2)という設問に対しては、市町村合併も広域連携も進めるべきでない(現状維持)という回答は10%程度であるのに対し、市町村合併あるいは広域連携を進めるべきと考える住民は7割を超えており、広域連携等を必要と考える住民が多いことがわかった。しかし、合併については御殿場市が57.6%と過半数を超える住民が合併を望んでいるのに対し、裾野・小山は35%程度と2市1町で少し温度差がある。

次に、問3～6は、問2で選択した回答別に設問が異なっているが、同様の設問内容から得られる結果はほぼ同じであった。

まず、市町村合併あるいは広域連携を進めたい理由(問3-2・問4-1・問5-1)としては、「教育・医療・福祉などで、質の高いサービスが期待できる」「行政の効率化が期待できる」に多くの意見が寄せられており、住民が市に対して特に要望している点であることがわかる。

市町村合併すべきでない理由(問5-2・問6-2)は分かれているが、裾野市は「財政力の維持」と「行政サービスの低下」、小山町は「地域格差」、御殿場市は「文化・歴史の喪失」において、各市町と比較し高い数値を示している。

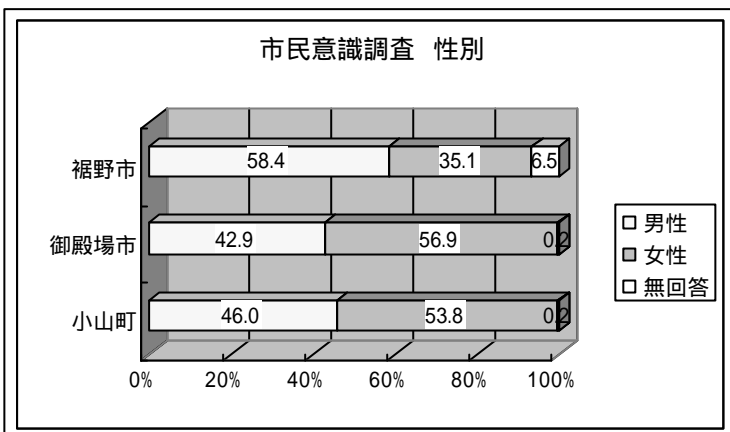
また、市町村合併をする場合の人口規模(問3-3・問4-3)は20万人程度が良いと思う住民が最も多く、どの市町村との合併が適当か(問3-4・問4-4)という設問に対しては、それぞれの隣接市町という回答が支持を得ている。さらに、道州制に移行するとしたら、南関東圏域に入るのが良い(問3-6・問4-6・問5-3・問6-3)と考える住民が約7割を占めている。

最後に、市町村合併によって、行政サービスの内容が低下したり、住民の負担が増加したりする事業があっても、合併を進めるべき(問3-5)という設問に対しては、「そう思う」という回答も過半数を超えており、合併を必要と考える住民の中では、市町村合併は是が非でも必要な切実な問題として捉えられている。

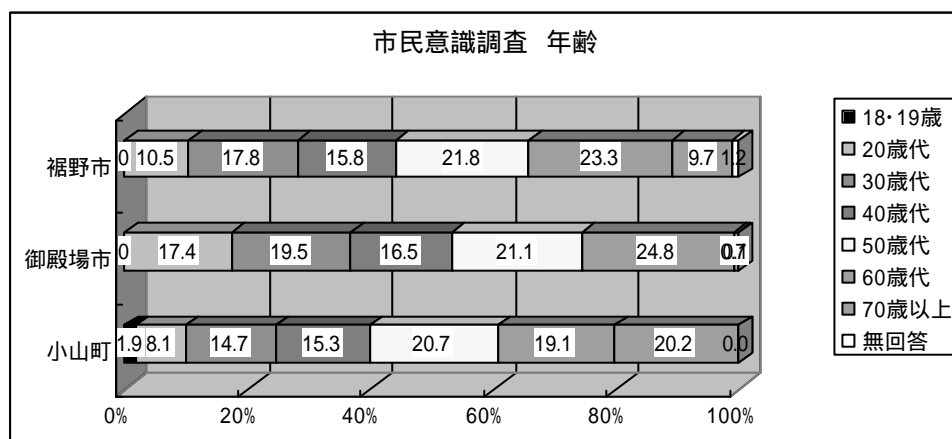
## 2 調査結果

### 回答者の属性

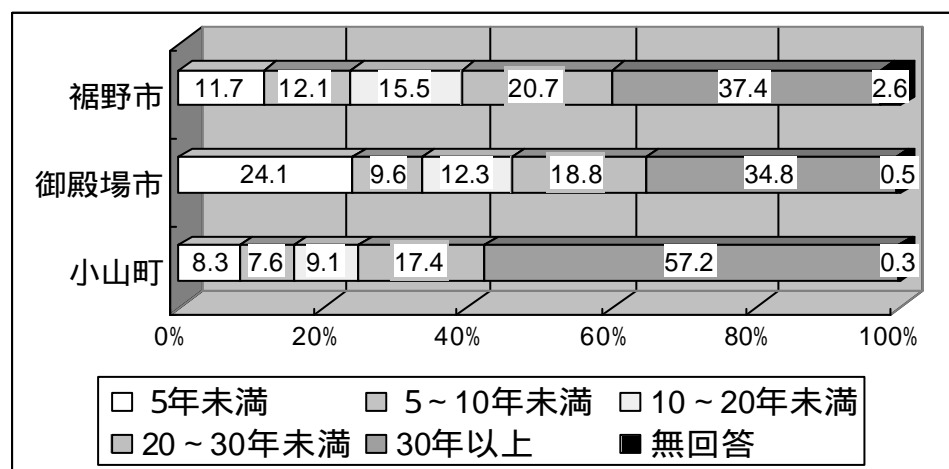
#### F 1 性別



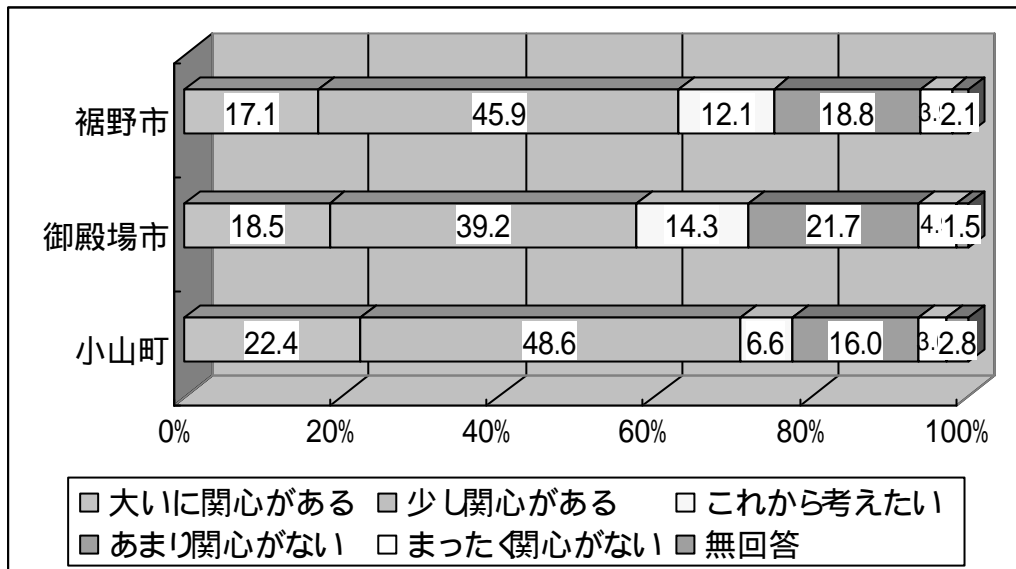
#### F 2 年齢



#### F 3 居住地区



問1 最近、道州制や市町村合併、広域連携について報道されていますが、関心をお持ちですか。次の中から1つお選びください。

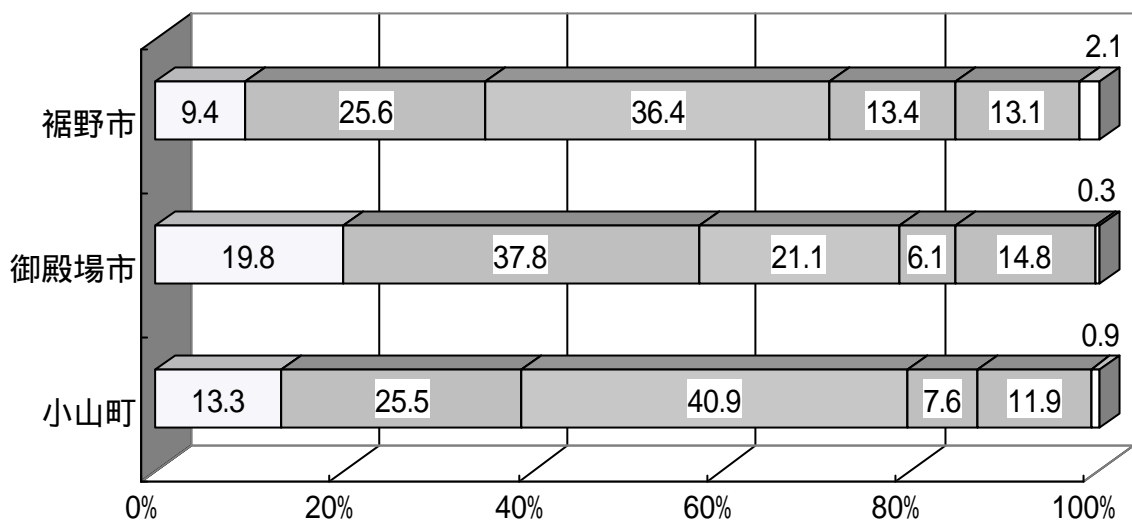


「大いに興味がある」と、「少し興味がある」の合計は裾野市 63%、御殿場市 59.5%、小山町 71%となり、全体の約6割は、「関心がある」と回答している。小山町では7割を超えている。一方、「あまり興味がない」「まったく興味がない」の合計は裾野市 22.7%、御殿場市 26.6%、小山町 19.6%約4人に1人の割合となっている。

ポイント

6割以上が、合併・広域連携等に“関心がある”と回答している。特に、小山町では“関心がある”は7割を超えている。

問2 将来を考えた場合、市町村合併や広域連携をするべきであるとお考えですか。次の中から1つお選びください。



- 市町村合併を進めるべきである
- 広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである
- 広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきでない
- 広域連携も市町村合併も進めるべきでない (現状維持)
- 分からない
- 無回答

「市町村合併を進めるべきである」と「広域連携を進め将来的には市町村合併を進めるべきである」の合計は裾野市 35%、御殿場市 57.6%、小山町 38.8%となり、各市に温度差がある。広域連携まで含めると、裾野市 71.4%、御殿場市 78.7%、小山町 79.7%と高い数値を示し、広域連携の必要性を感じている住民は7割を超えている。

ポイント

市町村合併を“進めるべき”と考える住民は、各市町でばらつきがある。広域連携については多くの住民がその必要性を感じている。